



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思います。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合っしてほしいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思います。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「お母さん、お願いね」

★今回の道徳の授業のねらい

自立を意識して自分の生活を見直し、節度を守り、節制を心がける態度を育てる。

★お話のあらすじと内容

主人公の「わたし」は、6年生になっても母に甘え頼ってしまうという生活態度でした。朝の起床や服のアイロンかけも自分でできることなのに……。そんなとき、急な母の病気をきっかけに、それまでの甘え過ぎていた自分に自ら気づくというお話です。素直に自分自身のあいまいな生活態度を反省し、家族が見守る中で立ち直る「わたし」。生活習慣の大切さと節度節制の心がけを知らせる教材です。

★子どもたちの授業で感じたことや振り返り

・昔は、この話の主人公と同じで、自分で起きればいいのに、お母さんに頼んで起こしてくれなかったら怒っていたことを思い出した。なんでもお母さんに頼らないで自分でできることは、自分でしたいと思った。

★家庭で話し合っしてほしいこと

生活習慣の習得、自分の生活の見直し、節度節制の涵養は、一人の人間としての自己形成のうえで根幹となるものです。6年生という段階では、自分でできることは自分でしっかり行うという力を養っていかなければなりません。いつまでも人を頼り、あてにするような態度では、自立の道は、開かれません。

家庭生活の中に、子供が習得し生かしていく学びの素材はたくさんあります。家族の協力や励まし、ねぎらい、称賛を織り交ぜながら、この時期をだいに過ごしていただきたいと思います。